

ステップ軽くダンスを楽しむ ななかまどナイト

10月26日、ボランティアサークルななかまどの会（坂井千枝会長）が、「ななかまどナイト」を洞爺湖文化センターで開催し、社交ダンスや抽選会で盛り上がりました。坂井会長の「出てきてよかったと思って帰っていただきたい」との挨拶の後、会はスタート。アーサーマレー高田ダンスセンターの皆さんによるデモンストレーションや参加者によるダンスタイムなどで楽しい一夜を過ごしました。

開催に先立ち、ボランティア振興基金とななかまど文庫にそれぞれ収益金の一部から3万円が贈られ、坂井会長から、菅原社会福祉協議会会長と綱嶋教育長に、目録が手渡されました。



収益金の一部を渡す坂井会長

10月27日、毎年恒例となっている虻田中学校の生徒による前浜の清掃活動が行われました。



前浜の清掃活動をする虻田中学校の生徒

地域の一員としての意識を高め、思いやりの心を育てようと実施されている事業で、サッカー、野球、バドミントン、バスケット、吹奏楽の各クラブ員約80人が参加しました。

生徒らは、赤川から豊浦方面の約1kmの範囲を1時間ほどかけて清掃し、空きカン、空きビンや流れ着いた漁網などのゴミを拾い集めました。

まちをきれいに 虻中生徒前浜で清掃活動

木村善幸氏・北海道和太鼓塾演奏会（洞爺湖教育振興会、町立洞爺高校共催）が、10月28日洞爺高校で行われ、高校生や地域住民の皆さんら約120人が参加しました。

木村さんは、札幌在住の津軽三味線と和太鼓の演奏家。同氏の講演では、自分の体験を基に「目標をもってチャレンジしてほしい」「自分で判断する力をつけてほしい」など熱く高校生に語りかけました。

引き続き、北海道和太鼓塾の塾生との力強い太鼓演奏が披露され、高校生らを魅了しました。



力強い和太鼓演奏を披露する木村さんと北海道和太鼓塾生

木村善幸さん 和太鼓演奏会 チャレンジ精神を語る

観光の授業で 虻高生温泉街を清掃

虻田高校の生徒が、10月31日洞爺湖温泉の清掃活動を行い、町内の美化活動に協力しました。

観光の授業の一環で、同校の商業科2年生14人が、洞爺湖温泉街、町道、湖畔遊歩道のゴミ拾いを実施。引き続き3班に分かれて、洞龍の湯、薬師の湯、ホテルに設置されている手湯1基の3カ所の清掃活動を行い、ブラシなどを使って磨き上げました。

終了後には、きれいになった足湯に浸かり、清掃活動の疲れを癒しました。



洞龍の湯を清掃する虻田高校の生徒

まちのわだい

